

空 手 道

(令和8年度)

兼全国及四国高校県予選

日 時	6月6日(土)	8:45	監督会議
		9:00	審判会議
		9:15	開会式
		9:30	競技開始
	7日(日)	8:45	監督会議
		9:00	審判会議
		9:15	開始式
		9:30	競技開始
		16:00	閉会式

会 場 愛媛県武道館 剣道場

参加資格 1 令和8年度県高校総体要項参加資格による。
2 (公財)全日本空手道連盟及び愛媛県空手道連盟の令和8年度登録会員であること。

競技種目	男子団体組手	男子個人組手	男子個人形
	女子団体組手	女子個人組手	女子個人形

参加制限 1 団体競技 男女各1チーム(正選手5名・補欠2名)
2 個人競技 制限なし

競技規定 (公財)全日本空手道連盟競技規定に準じて行い、運用については全国高等学校体育連盟空手道部競技規定ならびに高体連申し合わせ事項による。

競技方法 1 形競技、組手競技ともにトーナメント制とする。また、形競技のジャッジについてはフラッグ方式を採用する。なお、団体組手競技において出場校が3校の場合は、総当たりのリーグ戦とする。
2 男子・女子団体組手競技において、登録された選手の交替は自由とする。
3 個人種目において登録された選手の交替は認めない。
4 組手競技の勝敗は8ポイント差が生じた場合、または時間終了の際に得点の多い競技者により決められる。
5 団体組手競技は、1回戦は全員試合を行うが、2回戦以降は勝敗が決まった段階で試合を終了する。ただし、2回戦が初戦となるチームの試合については、全員試合を行うこととする。
6 形競技の1・2回戦は(公財)全日本空手道連盟指定形(第一・第二どちらでもよい)とし、同一形を繰り返してもよい。3回戦以降は、2回戦までに演武した形以外の指定形もしくは得意形とし、同一形を繰り返してよい。決勝戦・3位決定戦はこれまでに演武した形以外の指定形もしくは得意形とする。但し、第一指定形・第二指定形及び得意形は全空連制定の「競技方リスト」から選択しなければならない。

監督・コーチ 1 監督・コーチ等は校長が認める学校の指導者とし、申込書に記載されている者に限る。それが、外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
2 監督がコート内に入れない状況にある場合、監督の依頼によりコーチが監督代行としてコート内に入ることができる。

- 3 コートにつく監督（コーチ）は、監督の服装は、スーツ着用とする（ダークスーツとし、女性に関してはスラックスでもスカートでもよい）。ただし、監督が大会運営役員を兼任しており、更衣の時間が取れない場合等はその限りではない。

表彰 団体競技優勝校には賞状と優勝杯を授与する。
団体競技 2～3 位、個人競技 1 位から 3 位までに表彰状を授与する。

申込 参加申込書に必要事項を記入し、他競技を学校でとりまとめ、県高体連事務局に提出すること（5 月 8 日（金））。また、申込時には参加申込書のエクセルデータを E-mail に添付し、5 月 1 日（金）17 時までに下記に送信すること。
松山中央高等学校 榎 大輔 E-mail : ecentral.karate@gmail.com

連絡事項 1 本大会の結果により上位大会の出場権（男女別）が得られる。

競技種目	全国総体	四国選手権大会	
団体組手競技	上位 1 チーム	上位 2 チーム	
個人組手・形 競 技	上位 2 名	組手競技	上位 8 名
		形 競技	上位 4 名

2 空手道衣とネーム等

- (1) 空手道衣は白無地で落書きや縁取りのないものとし、空手衣の上下には高体連ラベル（黒色）を縫い付けておくこと。
- (2) 競技用赤・青帯については、指定業者において、高体連指定ラベル（灰色）を縫い付けたものを持参し、着用すること。
- (3) 空手道衣の左胸に入れる校名は次の基準によるものとする。
 - ① 一文字の大きさは 5 cm× 5 cm～ 7 cm× 7 cm
 - ② 字体は丸ゴシック・角ゴシック、行書・楷書の範囲
 - ③ 文字の色は黒か紺、ただし、スクールカラーは許可
- (4) 空手道衣の左上腕部に入れる県名は次の基準によるものとする。
 - ① 一文字の大きさは 5 cm× 5 cm
 - ② 「県」の文字は入れなくてよい。
 - ③ 字体、文字の色は上記の②③に準ずる。
- (5) 女子の下着の色は白無地の T シャツとする。（ただし、ワンポイント校名もしくはワンポイントのロゴ入りは認める）
- (6) 空手衣の背面部に、全国高等学校体育連盟空手道専門部指定のゼッケンを縫い付けること。不備がある場合は、出場を認めない。

3 組手競技では、男子 5 点、女子 4 点の安全具を必ず着用すること。

- ① ニューメンホーⅦ（全空連検定のもの）
- ② 拳サポーター赤・青（全空連検定のもの）
- ③ ボディプロテクター（高体連指定または全空連検定のもの）
- ④ シンガード・インステップガード（高体連指定のもの）
- ⑤ セーフティーカップ [男子のみ]

4 組手競技・形競技ともメガネ・コンタクトレンズ（ハード）、ヘアピン、リボンの着用を禁止する。

5 メンホーの中にマウスピースの着用を認める（任意）。

ただし、色については白または透明な物とする。

6 引率は校長が認める当該校の職員があたり、選手の行動に対して責任を持つこと。

7 健康管理

- (1) 競技中の疾病・傷病等の応急処置は主催側で行うが、その後の責任を負わない。
- (2) 故障者については、監督の責任で出場を取り止めること。
- (3) 参加者は健康保険証を持参すること。